

民主主義を破壊するテロに断固抗議する



2022年7月8日 日本共産党幹部会委員長 志位和夫

一、安倍晋三元首相が、演説中に銃撃を受け、ご逝去されたことに、心からの哀悼の意を表します。回復を願っていただけに残念でなりません。

一、言論を暴力で封殺することは、民主主義を破壊する最も憎むべき行為であり、強い憤りをもって断固糾弾します。とりわけ、選挙中という民主主義にとってきわめて重要な時期に、卑劣な蛮行が起きたことは、絶対に許すことのできないことです。

日本共産党は、言論の自由を暴力で封殺する、あらゆるテロ行為を許さない社会をつくるために力をつくすものです。

一、私は、安倍晋三氏とは、政治的立場を異にしておりましたが、同年に生まれ、当選も同期で、同時代を生きたものとして、そのご逝去は、とてもさみしく、悲しい思いです。重ねて深い哀悼の意を表するものです。

事件直後から抗議

志位和夫委員長は、安倍晋三元首相の銃撃直後、神戸三宮での街頭演説の冒頭で次のように演説していました。



「いまニュースが入ってきまして、11時半に安倍元首相が襲撃されて負傷したというニュースが入ってまいりました。言論を暴力で圧殺するということは、絶対に許してはなりません。

私は断固、強く、この蛮行に抗議したいと思います。

安倍さんの回復を心から願いたいと思っています。」



自由な言論をテロ行為で封殺することは、許しがたい民主主義破壊であり、断じて許されません。しかも、民主主義の根幹である選挙戦の最中で、自由な言論活動が最も保障されなければならない場面での野蛮極まりない暴挙であり、強い怒りをもって抗議するものです。

日本共産党は、「言論には言論で」という民主主義の根幹を守るため、あらゆる暴力を許さず、正々堂々と戦ってまいります。(N. N)

甲良民報

2022年7月10日 号外
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士 373 (西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242